



永井 孝佳 議員



海水浴場の開設について

問 飯岡海水浴場が開設できない理由を伺う。

答 消波ブロックの影響により砂が堆積し、干潮の時には消波ブロックまで砂浜が続いている。消波ブロックが死角となり監視業務に支障をきたす。地形的な問題で開設していない。



消波ブロックまで砂浜が続いている飯岡海水浴場

問 海水浴場を東か西にずらして開設できないか伺う。

答 移動した場合、駐車場やシャワー室の便益施設から

遠くなる。西側に移動した場合は水路が海岸に流れ込んでいるため、環境面での検証も必要。他の地域の海の生かし方を勉強しながら課題の解決に向けて検討したい。

窓口対応について

問 各種申請手続きで当事者が病気や怪我で委任状を書くことが難しい場合に第三者が代筆する事が出来るが、代理人が代筆する事が出来ない理由を伺う。

答 委任状は代理人による申請等が委任者本人の意思に基づくものである事を証するもので、代理人が代筆を行う場合、委任者の意思を十分に確認できない。

問 身分確認もしない第三者よりも、顔写真付きの身分証明を提出している代理人の方が信頼できると思う。委任者と関係が深い場合(親子など)は代理人が委任状を代筆する事はできないか。

答 委任者の不利益をもたらす可能性が考えられる。代理人とは別の方が代筆者として間に入る事によって、不利益の生ずる可能性を少しでも下げる事が出来ると考えている。

その他の質問事項

○ 中学校の部活動の今後について
○ 漁業関係者との連携について

リチウムイオン蓄電池等の適切な処分方法

問 リチウムイオン蓄電池の利便性が増加する中、不適切な捨て方による火災や作業員の安全性が問題となっている。本市はどのような対策を講じているのか。

答 電池を取り外せる製品は、市内5か所の公共施設に設置された有害ごみ回収ボックスへ捨てるように分別方法をホームページ、パンフレット等で案内している。家電量販店の回収ボックスへ持ち込むこともできる。取り外せない製品は、有害ごみ回収ボックスと同じ場所にある小型家電の回収ボックスか、資源ごみの金属ごみとしてゴミステーションへ出すよう案内している。

問 回収率を向上させるための今後の新しい取り組みについて伺う。

答 3R推進を図る新たな取り組みとして、リサイクルを実施している店舗や事業所の「旭市リユース・リサイクル拠点マップ

プ」を作成中。本年度に回覧版で各戸配布する。

問 回収場所まで行けない場合、ゴミステーションにコンテナを設置し、そこに出すことはできないか。

答 ゴミステーションへ出すことはできないが、今後は、市民に分かりやすい出し方の周知のほか、回収ボックスの増設などを検討していきたい。



本庁舎の有害ごみ回収ボックス(左)と小型家電回収ボックス(右)

避難所等のWIFI環境整備について

問 避難所等のWIFI環境の整備状況は。

答 指定避難所の総合体育館、海上公民館、旭市保健センター、ひかた市民センターの4か所にWIFI環境が整備されている。

その他の質問事項

○ 子宮頸がん予防ワクチンの周知と推進について